

鉄道局における技術開発の支援

鉄道局では、鉄道分野の安全性及び環境性能向上に資する技術開発を推進するため、鉄道事業者、メーカー等が行う技術開発に対して、補助金を交付することにより支援しております。

補助制度の概要

- 目的 : 鉄道技術水準の向上
- 補助対象者 : 鉄道分野に関する技術開発を実施する能力を有する法人
- 補助率 : 1/2
- 補助対象となる鉄道技術開発 :
 - ①安全対策に係る技術開発
 - ②環境対策に係る技術開発
 - ③新技術の鉄道への応用に係る基礎的、基盤的技術開発
- 予算額(国費ベース) : 約3.3億円(平成25年度)

開発事例

新たなタイプのホームドアの技術開発

- ホームドア設置のために解決すべき課題として、車両によって扉位置が異なること、補強工事が必要な場合に多額のコストが必要になることが挙げられる。
- 上記課題に対応する新たなタイプのホームドアを開発。

【戸袋移動型】



- 車両の扉位置にあわせて戸袋が移動するホームドアの開発。

【昇降バー式】



- 従来のホームドア部分を昇降するバーやロープとすることで、開口部を広くし、複数の扉位置に対応可能。また、軽量化により、設置時のコスト低減が可能。

【昇降ロープ式】



蓄電池を搭載した車両の開発

- 国内の多くのディーゼル車両は、老朽化が進み動費(燃料代)やメンテナンスコストが大きい等の課題がある。
- この対策として、車両に蓄電池を搭載して電化区間で充電し、非電化区間では放電して走行する車両を開発中。

【電化区間】

→ 電化区間では、駅停車時等に蓄電池へ充電

【非電化区間】

← 非電化区間では、蓄電池から放電して走行

